

予 定 表

日付	時間	予定	場所	大雨のとき
ひづけ いちにちめ 一日目	じかん ごぜん 午前	よてい うけつけ 受付	ぼしよ ほんどう 本堂	
	9時			
	10時	かいこうしき 開校式・いのちの話		
	10時30分	じこしょうかい 自己紹介		
	10時45分	しゃしんさつえい 写真撮影	ほんどうまえ 本堂前	
	11時	みんなす 皆で過ごす心構え	ほんどう 本堂	
	11時15分	しゆぎようめいそう 修行(瞑想)		
ごご 午後	0時	ちゆうしょく 昼食	ちゆうしゃじよう 駐車場	
	12時30分	ぶつきよう 仏教ってなーに？	ほんどう 本堂	
	1時15分	せんぞくよう 先祖供養ってなーに？		
	2時	あそび 遊び	そと 外	おくない 屋内ゲーム
	3時25分	せつえい テント設営		なし
	3時45分	りょうり 料理		しゆぎよう しゃきよう 修行(写経)
	5時30分	はんいどうおんせん A班:移動・温泉	しゃじよう ななさわそう 車上・七沢荘	
		はんゆうしょくかたづはなび B班:夕食・片付け・花火	くさはら 草原	はなび 花火なし
	6時45分	はんゆうしょくかたづはなび A班:夕食・片付け・花火		はなび 花火なし
		はんいどうおんせん B班:移動・温泉	しゃじよう ななさわそう 車上・七沢荘	
	8時	ぜんたいはなび 全体花火	くさはら 草原	なし
	8時15分	かいだんきもだめ 怪談・肝試し	ほんどう そと 本堂→外	かいだん 怪談
	9時15分	しゆぎようめいそうときよう 修行(瞑想・読経)	ほんどう 本堂	
	10時	しゅうしん 就寝	くさはら 草原	
ふつかめ ごぜん 二日目	ごぜん 午前	きしょうかたづ 起床・片付け	そと 外	
	6時30分	はかまい お墓参りってなーに？		
	7時	しゆぎようせいそう 修行(清掃)	かくしよ 各所	せいそう はな 清掃・お話し
	8時30分	ちようしょく 朝食	ちゆうしゃじよう 駐車場	
	9時	ウォークラリー	てらしゅうへん お寺周辺	おくない 屋内ゲーム
	10時45分	ほんちようちん えか お盆提灯お絵描き	げんかんよこわしつ 玄関横和室	
	ごご 午後	0時15分	なが 流しソウメン	くさはら 草原
1時		おや てがみ 親への手紙	げんかんよこわしつ 玄関横和室	
2時30分		へいこうしき 閉校式	ほんどう 本堂	
3時		かいきん 解散		

全体の手引き

■問題意識

- ① 幸せになるための授業がない
- ② 核家族等→イエの宗教の継承×
- ③ 家庭・学校・地域における躰機能×

■本行事の限界

- ・短期間であるため、型を定着させることは不可能である

■班担当の先生への期待

- ① 参加者の安全確保
- ② 目的達成のための諸活動
- ③ イベントの円滑な進行

■お山しゅぎょうの目指すところ

- ① 幸せに生きるための方法論としての仏教の説く生活習慣・修行方法・考え方を知ってもらう
- ② 日本人の精神基盤である仏教の思想や文化を学び、体験してもらうこと
- ③ 子どもへの躰の支援

■躰の方向性

- ① 人間社会、特に集団生活でのあるべき型を指導する
- ② (仏教関連の道徳を説く)

■指導方針の擦り合わせ

- ・先生へは丁寧語で話す。目上の人や、指導をお願いする人に対して敬意を表するという日本文化に合わせてもらう。
- ・正当な理由のない限り、指導には従ってもらう。例えば、正座の時間には正座をする。読経の時間には、お経を読む。真面目に取り組まない子には、厳しく指導する
- ・食事中は話してよい。僧堂では、目の前の食事に集中するために無言を規則とする伝統があるが、お山しゅぎょうでは、話しながら周囲とコミュニケーションを取って仲良くなることを優先する。
- ・講義中、どうしても我慢ができない場合、給水・トイレを認める。その場合、担当の先生に打診し、一緒について行ってもらう

- ・炊事・花火・移動時など、何より危険からの回避が第一。特に自班の参加者には注意をする
- ・各自の裁量で参加者へ指導(躰)。仏教の説く道徳と、世間的な規範に大きな差はない。注意するときは必ず理由を一緒に伝える。不明な場合は、副住職へ確認して欲しい
- ・自班をまとめて、各イベントに真剣に参加してもらい、移動や支度などをキビキビしてもらえるよう指導
- ・必要に応じて会場設営・備品運搬等の手伝い

受付

■目的・狙い

- ・①必要な備品の授受を行い、②名簿を更新し、③参加者へ開校式の準備をしてもらうこと

■先生への期待

- ・役割分担した次の作業の実施。①受付、②受渡、③作業指示、④女子更衣室への誘導
- ・受付→荷物置場→本堂中央への誘導(自班の整列)

■役割分担

- 受付
- 受渡
- 作業指示
- 女子更衣室案内

■全体の流れ

- ・受付
- ・荷物置き
- ・整列
- ・受付をする
- ・荷物を置き、Tシャツに着替える
- ・本堂の中央に班ごとに並ぶ

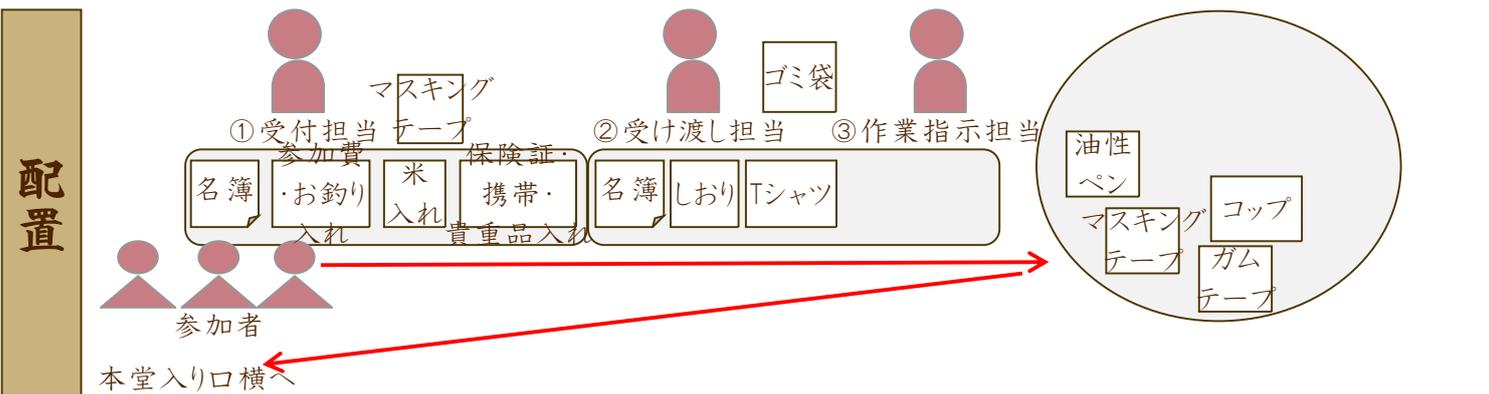
■運営上のポイント

- ・受付の混雑・混乱を減らすため、整列とスムーズな作業を促す
- ・参加者の緊張が解けるよう、積極的な話しかけや、班員同士での会話の促進

■躰のポイント

- 靴を揃えたか
- 帽子を脱いだか
- 挨拶
- 受付時の整列
- 言葉遣い

■受付の配置と手順



	①受付	②受け渡し	③作業指示
配置			
手順	<ul style="list-style-type: none">✓参加者本人が受付へ一列に並ぶこと、参加費(封筒から出す)・お米・保険証・携帯電話・貴重品の受け渡し準備をすることを参加者へ伝える✓受付時、参加者の氏名を確認し、大きな声で復唱する(受け渡し担当へ知らせるため)✓参加費等を受領し、受付名簿を更新。携帯・貴重品を預かった場合、班・名前をマスクングテープに記入し、貼り付ける	<ul style="list-style-type: none">✓参加者へしおり・Tシャツを渡す✓Tシャツは名簿を元に適切なサイズのものを選ぶ	<ul style="list-style-type: none">✓次の4つを参加者へ指示1. しおり・マスクングテープ・ガムテープへの班と名前の記入。マスクングテープはコップに貼り付け、本堂入り口横に置く。ガムテープは進呈したTシャツの左胸に貼り付ける2. 荷物は本堂右手の扉を出て直進し、突き当りの部屋へ班別に置く3. Tシャツに着替える(女子は台所更衣室として使う)4. 9時55分までに、しおりを持って本堂で班ごとに整列

料理

■目的・狙い

①不慣れな作業を協力して成し遂げることで、達成感を味わってもらう、②料理自体の楽しさや、レシピを考案すること・残すことの重要性を感じてもらう

■先生への期待

・料理全体の工程を説明し、間違っただけをしないか見守る
・包丁やピーラーなどで怪我をしないよう安全管理

■全体の流れ

①工程の説明
②火起こし・調理
③片付け

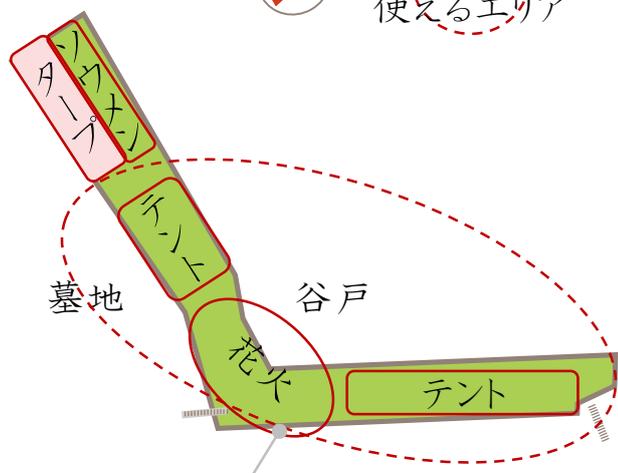
・大まかな調理方法を説明する
・並行して火起こし・調理を進める
・随時、片付け

■会場の使い方

●Aパターン

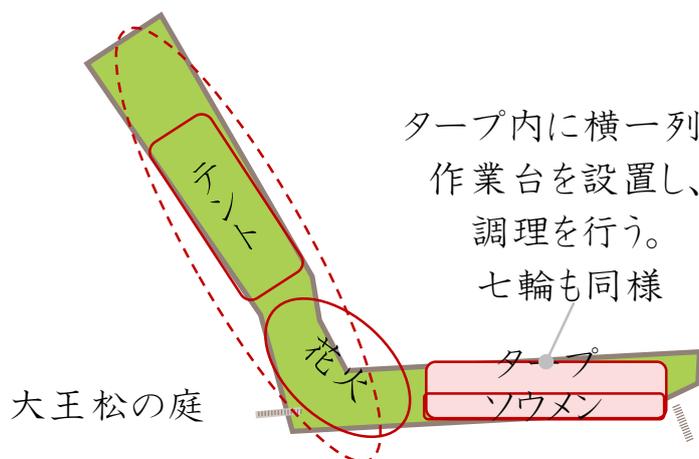


遊び時間に
使えるエリア



ここで焚火を行い、炭に着火してから七輪へ移動する

●Bパターン



タープ内に横一列に作業台を設置し、調理を行う。七輪も同様

怪談

■目的・狙い

・お寺ならではの雰囲気
を生かして、怖い話を楽
しんでもらうこと

■先生への期待

・怪談の話し手
・聞きたくない人を別室で遊ばせる

■全体の流れ

①不参加者の退場
②怪談

・不参加者を会議室へ移動する
・怪談を実施

■役割分担

・別室誘導×3名
・怪談の話し手

肝試し

■目的・狙い

・お寺の墓地を生かし
て、肝試しを楽しんでもら
うこと

■先生への期待

・自班と一緒にコースを回り、崖・溝などからの安全管理
・コースを誤っている場合は、修正してあげる

■全体の流れ

①随時出発
②就寝準備

■コース



朝食

■目的・狙い

・命に感謝しながら食事を摂ってもらうこと

■先生への期待

・自班の誘導
・食前・食後の言葉の音頭取り

■全体の流れ

① 移動→食事の受取
② 食前の言葉→食事
③ 食後の言葉

・駐車場へ集合→1人ずつ朝食を受け取る
・班ごとに食前の言葉を唱えて食事
・班ごとに食後の言葉を唱えて終了

■躰のポイント

食前・食後の言葉

ウォークラリー

■目的・狙い

① 体を動かし、頭を使いながら楽しんでもらうこと
② 共同作業を通して、班内の親睦を深めること

■先生への期待

・車・虫・動物・崖・溝・熱中症などの危険からの安全管理
・参加者の課題取り組みのフォロー
・班員間のコミュニケーションの促進
・体力的につらそうな子供の荷物を持ってあげるなどフォロー

■全体の流れ

① ルール説明
② 出発
③ 答案提出

・ウォークラリーのルールを説明する
・時間を空けて、班ごとに出発
・答案を提出し、高得点順に流しソウメンの場所取りが可

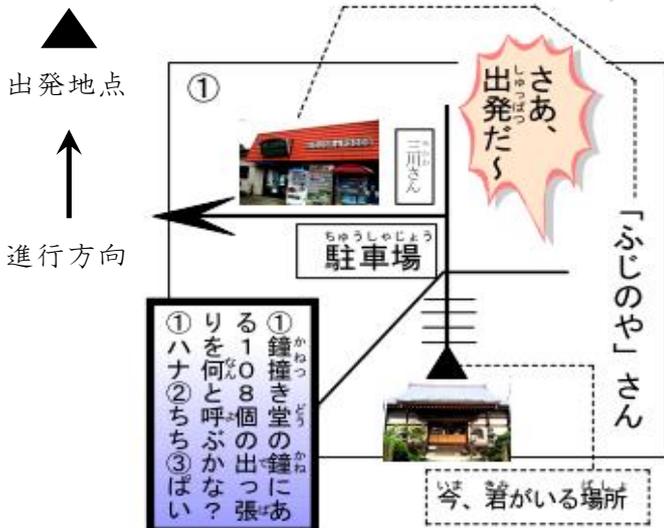
■運営上のポイント

・考えてもらうため、答えを教えずヒントは少な目に。ルート間違いには質問で誘導
・前後の班と合流しないように、進行スピードに注意

■躰のポイント

協調性

■地図の見方



写真撮影

■目的・狙い

- ・写真を撮って行事の思い出を残すこと

■先生への期待

- ・全員が写真に写る位置へ移動するよう誘導
- ・撮影へ参加

■全体の流れ

- ①その場で整列
 - ②写真撮影
- ・移動する前に、御宝前を先頭に背の高い順に並ぶ
 - ・本堂前階段へ移動して撮影

■運営上のポイント

- ・全員が写る位置取りに時間がかかるので、適宜指示を出して効率的に

■躰のポイント

- 指示への反応速度 写真撮影時の他の子への配慮

竹食器作り

■目的・狙い

- ・①自然と触れ合う、②買うのではなく、工夫することで楽しみを作り出せることを知ってもらう

■先生への期待

- ・移動時の引率・ウォータージャグ・竹材の運搬
- ・子供の安全確保
- ・工作のフォロー

■全体の流れ

- ①移動
 - ②伐採
 - ③工作
- ・本堂から竹林へ移動
 - ・竹林で竹を伐採
 - ・竹材で汁椀・箸を作成

■伝達事項

- 班員へ
- ・竹の伐採時は離れる
- ・ナタは絶対に振り回さない

■運営上のポイント

- ・安全第一。移動時の転落、工作時の切り傷に嚴重注意
- ・自由度の高い時間なので、メリハリを大事にする

■躰のポイント

- 聴く態度 順番を守る

■工作方法

